

令和2年度病害虫発生予察情報速報

令和2年9月11日
長崎県病害虫防除所長

普通期水稻 トビイロウンカの発生状況及び防除について

トビイロウンカについて、令和2年8月28日付け注意報第9号発表後の発生状況は下記のとおりであり、一部では本虫の密度が非常に高い圃場や坪枯れの発生も見られています。

これまで天候不順等により適期に防除できなかつたり、また、実施していても効果が不十分な圃場においては、坪枯れの被害が急激に増大することが予想されるため、下記の点に留意して防除の徹底をご指導願います。

記

1. 発生状況等

- (1) 9月前期の巡回調査（80筆中74筆調査済み）の結果については、株当たり虫数0.6頭（平年 0.7頭）と平年並であったが（図1）、一部多発圃場がみられた（表）。発生圃場率は73.0%（平年 56.5%）と平年より高く、発生の多かった昨年よりもやや高かった（図2）。
- (2) 9月1半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、株当たり虫数は1.2頭（過去7か年平均 4.0頭）、寄生株率は67.0%（同 49.4%）であった。
- (3) 9月前期の巡回調査や臨機調査、各振興局からの聞き取りでは、坪枯れの発生は8月下旬と早くからみられており、普通期早植えの圃場で多い傾向にある。
- (4) 気象予報（福岡管区気象台、令和2年9月10日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

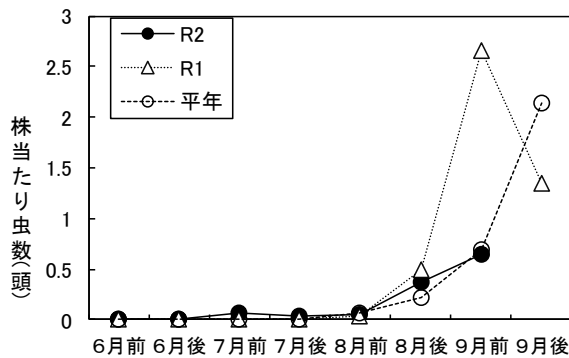


図1 トビイロウンカの株当たり虫数の推移

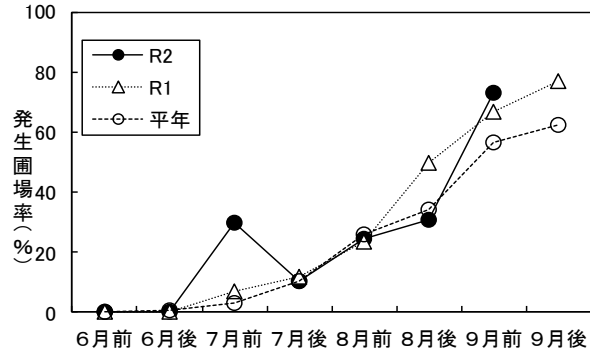


図2 トビイロウンカの発生圃場率の推移

表 普通期水稻におけるトビイロウンカの発生状況

区分		調査日	トビイロウンカの株当たり虫数				
			0	0~1未満	1~5未満	5~20未満	20~
振興局	県央	9月9,10日	8 (25.0)	23 (71.9)	1 (3.1)	0	0
	島原	9月10日	11 (55.0)	9 (45.0)	0	0	0
	県北	9月9,10日	1 (6.3)	9 (56.3)	5 (31.3)	1 (6.3)	0
	壱岐	9月9日	0	4 (66.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	0
圃場数計 (圃場率%)			20 (27.0)	45 (60.8)	7 (9.5)	2 (2.7)	0

(上段:圃場数、下段:(圃場率%))

2. 防除対策

- (1) 本虫は出穂期以降、急激な密度上昇により収穫期頃に大きな被害を及ぼすため、圃場での発生状況を確認し、9月中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めた場合には早急に防除を行う。
- (2) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、防除を行った圃場でもその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に行う。
- (4) すでに坪枯れが発生している圃場では被害の拡大を防ぐため早急に防除する。また、多発生圃場で水稲が収穫可能な時期に達している場合はできるだけ早めに刈り取る。
- (5) 収穫時期が近いので、薬剤の散布時期に注意し使用基準を厳守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチも含め周辺動植物等へ薬剤の飛散などによる影響がないよう十分注意する。

○水稲穂吸汁性カメムシ類防除のため水田に散布する殺虫剤により、ミツバチに被害が生じる可能性がありますので、十分な配慮をお願いします。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」

アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

